

会員の声：自由化と自己責任 山上茂夫

これからは自由化と自己責任の時代となって行きます。

自由化は私達、土業も、その外の商売も「自分の責任で判断して、許される範囲で自由に競争しておやりなさい。規制はしませんから・・・」と言うお上の宣言です。

戦後官主導で、国民も安心して従ってきた仕組みがグローバル化の中で、もろくも崩れ去った現象です。日本は戦後、自由と平和と経済繁栄がセットされていると勘違いをしていました。経済繁栄も自由も、苦しみを乗り越え努力してはじめて獲ちとれるものなのです。今また自由化イコール物価が安くなることだと安易に勘違いしていませんか？物価が安くなることは世界的に平準化されると言う事なのです。サービス競争が激化するのは一時的な現象です。そこでより良質なサービスや商品が生まれ認知されるかどうかは企業努力の問題です。本当に求められるサービスや商品が継続的に提供されるかどうかは採算性の問題です。[サービス競走イコール安い]との考え間違えです。特にサービス産業ではサービスは主に人件費なのですから本当に良質な独自の商品や、知的財産などは高く評価される時代となって行きます。

私達の報酬も公正取引委員会のチェックもあって、定められた日当報酬でなく自分の値段を請求できるようになりました。経験や蓄積された知識、情報に基づくノウハウが価値を持つ時代となって来ます。反面、高いか安いかはユーザーの責任と価値判断で決められます。安物買いの銭失いとの諺もあります。

今本物かどうかを見分ける能力を勉強と努力によって身につける必要に迫られています。

次年度理事会

開催日時	平成13年5月8日(火)	11:30~12:30
開催場所	三条ロイヤルホテル	
出席者	木宮 梨木 山中 石川 山崎 落合 小林(満) 長谷川(恵) 丸山(今井) 堀川 大野 五十嵐(茂)	出席者12/14(内委任状4)
協議事項	1. 会長方針について 5/22例会時に発表 2. 次年度予算について(2案) 3. 家庭会合について ロイヤルホテルに於いて4回開催クラブより全額補助1人3,000円 4. 今後の予定について 5. グリーンキャップ購入について ニコニコBOXより支出 6. IM助成金について 周年積み立てより@10,000×60人+40万円で100万円	承認 承認 承認 承認 承認 継続審議
5月22日例会:	クラブ協議会(地区協議会報告会)	
5月29日例会:	夜例会 午後6時点鐘 AG事前訪問卓話 次年度第四分区AG中條耕二会員 於松木屋	
6月5日例会:	クラブ協議会	
6月12日例会:	卓話地区社会奉仕大委員長 梨本清一会員	



三条北ロータリークラブ週報

意識を喚起し—
進んで行動を

例会日
2001. 5. 8
累計 No 703
当年 No 42

国際ロータリー会長 フランク J. デブリン 第2560地区ガバナー 吉田昭平

会長/山崎 勲
幹事/外山 晴一
SAA/五十嵐 茂

例会日/火曜日 12:30~13:30
例会場/三条ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX34-8114
事務局/三条市西四日町3-15-34 ヒューマン・ハーバー内
☎35-7160 FAX33-8972 Eメール sanjo-n@themis.ocn.ne.jp

行事: 卓話「規定審議会に思う」

R I 第2560地区第四分区アシスタントガバナー 長谷川日吉様

出席: 本日の出席 58名中 37名

先々週の出席率 58名中 46名 79.31%(前年同期86.54%)

先週のメークアップ: 5月2日 三条RCへ 山本 賢さん、山中 正さん、佐藤弘志さん
淵岡 茂さん、今井克義さん、中條耕二さん
五十嵐 茂さん

ゲスト: R I 第2560地区第四分区アシスタントガバナー 長谷川日吉様

ビジター: 三条RCより 渡辺勝利さん
三条南RCより 永桶栄資さん

会長挨拶: 山崎 勲



本日は三条クラブから渡辺勝利さん、三条南クラブから永桶栄資さんメークアップ有り難うございました。

今日の卓話の時間は第四分区アシスタントガバナー長谷川日吉さんのご指導を受ける事になっております。長谷川さんは非常に真面目でロータリーに付いて一生懸命勉強されておられる方ですからためになる話を十分聞かせていただけるのではないのでしょうか。

大型連休も終わり仕事の本格的に始まりました。連休中は天候に恵まれ、県央地区では三条市で住宅火災一件、燕市で轢き逃げ事件、加

茂市では加茂市の男性が日本平山で遭難と目立った事はこれくらいでした。今年はカレンダーの配列が良く、長いところでは9連休から始まり、短い所でも4連休になっております。ですがサービス業では連休でしっかり売上を伸ばすために休みなしで仕事をしていた企業もあります。現在は全企業に対するサービス業の割合は30%を越えており、実際に日曜、祭日に力を入れている企業も半

分位あります。これはサービス業に分類されている企業でも日曜、祭日の接客を伴わない企業もあるからです。ご多分のもれず我が社も休みの少ない企業です。以前は5月5日の子供の日が新聞休刊日だったのですが、時代の変化に対応して今年は最後の休みの日、6日が新聞休刊日に当たり休みは一日でした。私は休みを利用して家庭菜園に精を出して、畝のマルチング、苗の植え付けなどをし、普段と違う姿勢をとり続けていましたら、足が痛くなって歩くのもやっとなんという状態になってしまいました。夜になり家族サービスで妻、娘夫婦と食事に出てそのまま帰れば良かったのですが、他の打ち合わせがあり、ちょっと飲んでしまいましたら昼間の疲れが伴って酔っ払ってしまい、タクシーで家に帰り玄関に入る手前で足がもつれて転んでしまい、バックは無くなるし、メガネも無くなるし大変でした。バックは携帯電話を入れておきましたので、携帯に電話をしてすぐ見つけましたが、メガネはどこに飛んで行ったかまだ見つかっておりません。全員がそうだと思いますが自分の体力が日毎に弱っているのを認識されておれば私のような失敗はしなくて済むのでは無いでしょうか。

幹事報告： 外山幹事

- ・2001-2002年度地区社会奉仕大委員長より グリーンキャップ（帽子）購入のお願い
- ・日本ユニセフ協会より ご協力をお願い

ニコニコボックス： 8日現在累計 982,000円

長谷川日吉君（吉田RC）一年間大変お世話になりました。今日はクラブ訪問で寄せて頂きました。宜しくお願い致します。

山崎勲君 長谷川さんよくいらっしゃいました。

外山晴一君 長谷川AGようこそ。

米山忠俊君 ようこそ長谷川アシスタントガバナー様、本日は宜しく御指導のほどお願い致します。

山上茂夫君 長谷川アシスタントガバナーのお話を糧として精進したく思います。歓迎致します。

佐藤弘志君 アシスタントガバナー長谷川様、卓話御苦労様です、よろしく御指導お願いします。

馬場直次郎君 昨晚息子がお父さんごくろうさん、僕が肩をもんでやるヨ、と言われ5分位小さな手でもんでもらいました。何か買ってというつもりじゃないんだヨ、親孝行だからネ、と言われ、思わず心の中でグッスンをしてしまいました。

岡田健君 先日の拙い卓話御静聴ありがとうございました。

大野新吉君 山崎年度も残すところ1ヶ月と数日となりました。ボックス目標額に1日も早く達成します様、全会員の皆様方のご協力お願いします。次年度社会奉仕委員です、ボックスの協力（資金）がなければ困難をきわめますので……

本間建雄美君 本日の卓話楽しみにしていましたが、急用の為早退させて載きます。

落合益夫君 BOX協力。

久保博君 BOX協力。

堀川正幸君 BOX協力。

本日の食事： 豚ヒレカツ、お造り、冷や奴、お新香、みそ汁、ご飯、フルーツ

卓話：「規定審議会に思う」RI第2560地区第四分区アシスタントガバナー 長谷川日吉様



2000～2001年、宮川、吉田ガバナー年度も後余すところ1か月余りとなりました。その間、公式訪問をはじめ、クラブ訪問など色々と皆様からご指導とご協力を頂き誠に有り難うございました。この年度は20世紀から21世紀へのミレニアムの年であり、また、2560地区が新潟と群馬で地区分割を行い、新たに新潟が2560地区に、群馬が2840地区として再出発した記念すべき意義深い年であります。この新たなる地区の発足に当たり地区リーダーシッププランの実施をすべく宮川ガバナーより薫陶を頂いてまいりました。しかし、宮川年度に入って早々思いも寄らぬ事態が発生しました。年度始まって15日にして宮川ガバナーが急逝なされたのであります。急遽アクテングガバナーとして吉田ガバナーが就任され宮川ガバナーの後を継承して頂く事になりました。私どもは宮川ガバナーより地区リーダーシッププランを全面に打ち出し地区運営するよう要望されて居りましたが、吉田ガバナーの就任により方針を変更し、公式訪問ではガバナーを中心した形に変更する事に致しました。この様に、宮川、吉田ガバナー年度には色々な出来事がありましたが、悲しかった事、楽しかった事など全てを時が包んで過ぎ去って行った様に思います。さて、ここで去る4月21日から27日迄の7日間、シカゴで開催されましたRIの規定審議会についてお話致したいと思います。この審議会には当地区からは大島バストガバナーが規定審議委員として出席されております。審議会には世界各地区から530名の審議委員が参加され、今まで史上最高の668件の議案の審議がなされます。7日間、1日8時間としますと56時間、3360分、1件、5分の審議時間と言う極めて過密な日程で行われることになります。議案の中でロータリーの基本原則に係わる重要な案件が提案されておりますが、その中でも注目すべきものが3件あります。一つは、毎週行われていた例会を2週間に1回に変更する件であります。二つ目は、一業種一会員制を廃し、一業種五名まで同業種の会員制とする。三つ目は、出席率60%の原則を約半分に引下げ緩和すると言う案件で有ります。これらの案件については、賛否、議論の別れるところではありますが、日本では組織の意識減退につながるとして反対の意見が多いと聞いております。しかし、審議会での採決は10%の反対がなければ可決するとの事で、審議委員530名の中で日本の35名の委員数では否決する事は難しいようです。いずれにせよこれらの案件はロータリーの根幹に係わる問題として今後注目して行きたいと思えます。また、この他にRI定款とクラブ定款にとらわれないクラブを200クラブ創ることを提案されるとも聞いて居りますが、多分社会主義の中国を視野に入れての案件でなかろうかと想像されます。RIの理事会では現在の1,176,169名の会員を2005年までに15万0人に会員増強することを決議いたしました。この度の規定審議会の案件がこの150万人達成の為の具体的な提案のように思われます。ロータリーは2005年に創立以来100年を迎えようとしているなかで、今その姿が大きく変わろうとしております。これらの事柄について皆様はどのようにお考えでしょうか。